



出水のそらまめ



大きく太った緑色のそらまめは 鹿児島を代表する春の風物詩

生産量日本一を誇る鹿児島

県のそらまめは、大相撲五月場所の相撲観戦でおつまみとして振る舞われるほど、そのおいしさは折り紙つき。なかでも阿久根市、出水市、長島町で生産される「出水のそらまめ」は、平成11年度にかごしまブランド産地に指定されている。さらに昨年3月には、安心・安全なそらまめを消費者へ提供するため、かごしまの農林水産物認証制度の認証も取得し、信頼確保にも努めている。

太陽の光をいっぱい浴びて育

った出水のそらまめは、甘いことば言うまでもなく、鮮やかな緑色と実が大きいのが特徴。3月下旬から5月中旬にかけて収穫され、主に関東や関西方面へ毎年600トン以上出荷されている。

「栄養たっぷりでおいしいそらまめを栽培するために、生育にあわせて余分な芽や、さやを取り除く作業を繰り返し、こまめな管理を欠かしません」と話すのは、阿久根市でそら

まめを栽培して約40年になる

徳田 鉄美さん。「今年は、強風で茎が折れるのではないかと心配しましたが、防風ネット



トで風を調整し、なんとか無事に収穫期を迎えることができました」と安心。また収穫する時、ダイナミックなさやがついているのを見ると、苦労が報われ、元気がますますのこと。徳田さんのお薦めは、素材の味を生かしたシンプルな塩ゆで。旨味と香りが増し、お酒のつまみに合うとか。

そらまめは、たんぱく質やビタミン類、食物繊維などの栄養がバランスよく含まれているので、手軽に栄養補給でき、疲労回復や利尿作用が期待できるともいわれている。

温暖な気候で育ったこれぞ「出水のそらまめ」をぜひ味わってみてはいかが。



そらまめのふるさとを訪ねて

阿久根市・出水市・長島町



協本海水浴場 [阿久根市]

「日本の快水浴場百選」に選ばれ、約3kmにもおよぶ白浜が続く美しい海水浴場。シーズンオフにはサーフィンも楽しめる人気のスポットです。また、海の家なども充実しており、これからの時期、家族連れで潮干狩りも楽しめます。そのうえ、東シナ海の水平線に沈む夕日は、絶景といえます。

阿久根市水産商工観光課
0996 (73) 1211



東雲の里 あじさい峡 [出水市]

5万坪の大庭園に160種・10万本のあじさいが咲き乱れる日本最大級のあじさい園。さらに奥には「東雲の滝」もあり、遊歩道が続きます。また、食事のできる「草の花」もあります。6月中が見頃ですので、ぜひ足を運んでみては。

東雲の里 あじさい峡
0996 (68) 2113



小浜海水浴場 [長島町]

長島青少年旅行村内にあり、海と砂浜の美しさが自慢。特徴は、真っ白な砂浜で、透明度が高い自然の海水浴場。干潮になると遠浅になり、小さなお子さまも安心して楽しめます。2009年にはシャワー室と更衣室完備の休養施設が完成。夏の思い出づくりに出かけてみませんか。

長島町水産商工課
0996 (86) 1111